

熊本空港特定運営事業等

2023年度 事業計画

熊本国際空港株式会社



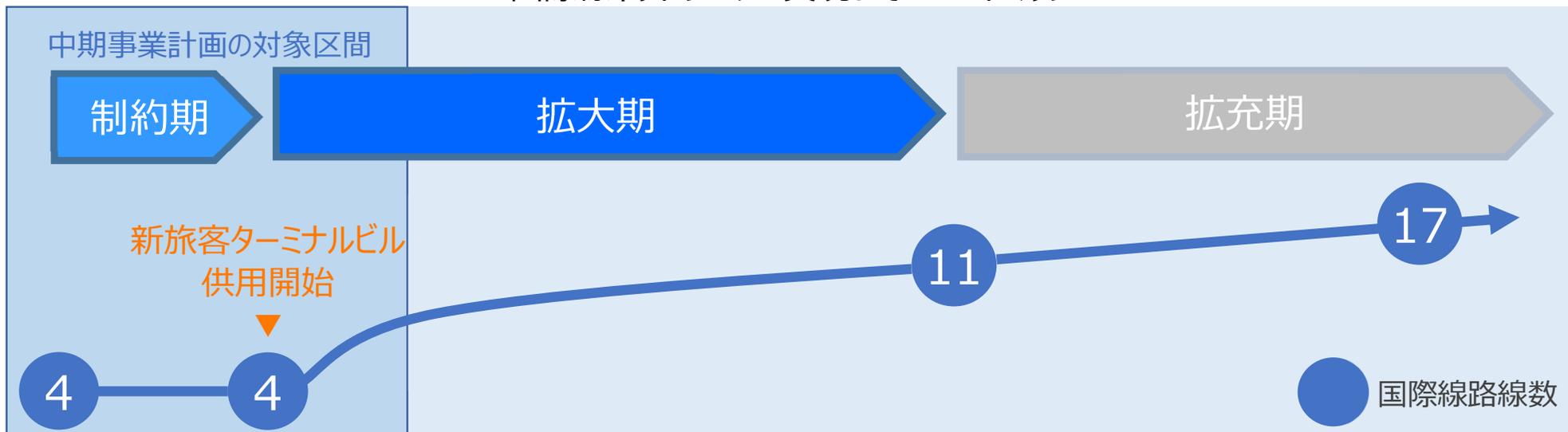
2023年度の方針

当初の事業期間終了時
(2051年度)
におけるビジョン

世界と地域にひらかれた九州セントラルゲートウェイ
地方空港※No.1の国際線ネットワーク

※羽田、成田、関西国際、福岡、新千歳、那覇、伊丹、中部を除く空港

No1国際線ネットワークの実現までのロードマップ



2023年度

2023年度の方針

- ・安全・安心を最優先とする、円滑かつ効率的な空港運営業務の実施
- ・新旅客ターミナルビル(新ビル施設)の供用開始後の拡大期へ向けた取組みの推進

目標値

国内線
旅客数

333万人

国際線
旅客数

23万人

貨物量

1.7万t

運営権施設の投資総額

18.9億円

◆滑走路・灯火の更新工事 等

非運営権施設の投資総額

149.7億円

◆新ターミナルビル関連投資(工事代金支払分含む)等

基本方針と2023年度の具体的施策

ビジョン実現のための 5つの基本方針

2023年度の具体的施策



世界水準の
空港体験の提供

- 安全・安心を前提とした新ビル施設の着実な運営
 - ✓ 充実した搭乗待合エリア・免税店・ラウンジ等、リニューアル設備を適正に運用し、お客さまの利便性・快適性を向上
 - ✓ 設備の適正管理による不具合発生の未然防止及びコスト低減を図り、お客さまサービスの品質を向上



東アジア路線の
戦略的誘致

- 新規路線の就航に向けた取組みの推進
 - ✓ 重要路線に対する就航準備と路線振興策の集中的な投下



二次交通の
拡大・拡充

- 旅客需要の回復に応じたバス路線の拡大等、空港を起点とした路線誘致の推進



地域との連携強化
による需要創造

- 地域との顔の見える関係構築
 - ✓ 地域と連携したスモールミーティングや各種催事の実施による信頼関係構築と非航空需要の創造
- 地域企業との連携強化による航空需要の創造



空港全体の
レジリエンスの確保

- 新ビル施設供用開始後の安定した保安体制の維持
- 空港基本施設等の適切な更新・維持管理とコスト低減の両立